令　和　４　年　度

枚方京田辺環境施設組合
決算審査意見書

枚方京田辺環境施設組合監査委員

目次

第 1.　審査の対象 …… 2
第 2.　審査の期間 …… 2
第 3.　審査の方法 …… 2
第 4.　審査の結果 …… 2
第 5.　決算の概要 …… 3
　1.　決算の状況 …… 3
　2.　歳入 …… 4
　3.　歳出 …… 6
　4.　財産の状況 …… 8
第 6.　意見 …… 9

（凡例）

1.　文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入（歳入は切り捨て）して表示したため、総数と内訳等が一致しない場合がある。
2.　文中及び各表中の比率は、小数点以下第２位を四捨五入し、第１位まで表示することを原則としている。
3.　各表中の符号の用法は、次のとおりである。
　「－」　……　比較不能、不用のもの又は該当数値のないものを示す
　「△」　……　負数を示し、増減を示すときは減を示す

枚　京　監　第　１　４　号
令和５年（2023 年）９月２７日

枚方京田辺環境施設組合
管理者　上村　崇　様

枚方京田辺環境施設組合
監査委員　分林　義一
監査委員　妹尾　正信

令和４年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第２３３条第２項の規定により審査に付された、令和４年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算書その他政令で定める書類を審査したので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

第 1.　審査の対象

令和４年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算

令和４年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和４年度枚方京田辺環境施設組合一般会計実質収支に関する調書

令和４年度枚方京田辺環境施設組合財産に関する調書

第 2.　審査の期間

令和５年８月２９日から令和５年９月２７日まで

第 3.　審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されているか、計数の正確性、事務処理の適否、予算執行状況等について検討するため、関係諸帳簿を照合し、また、関係職員から説明を受け審査を行った。

第 4.　審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿と符合して正確であると認められた。また予算執行及び事務処理についても、例月現金出納検査・定期監査を通じて検査・監査した結果、おおむね良好に処理されていた。

第5.　決算の概要

1.　決算の状況

令和４年度の決算額は、予算現額２億7,080万円に対して

歳入　２億6,598万６千円

歳出　２億6,583万７千円

となっており、前年度に比べ、歳入で１億4,048万９千円（111.9%）増加、歳出で１億4,039万円（111.9%）増加している。

歳入歳出差引き（形式収支）、実質収支ともに14万９千円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は９万９千円の黒字となっている。

歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

歳入歳出決算状況

（単位：千円、%）

区分	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
予算現額	270,800	133,295	137,505	103.2
歳入決算額 (A)	265,986	125,497	140,489	111.9
歳出決算額 (B)	265,837	125,447	140,390	111.9
歳入歳出差引額(形式収支額) (A)－(B)　(C)	149	50	99	198.0
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	0
実質収支額 (C)－(D)　(E)	149	50	99	198.0
前年度実質収支額 (F)	50	166	△116	△69.9
単年度収支額 (E)－(F)	99	△116	215	－

2.　歳入

(1) 歳入の概要

決算額は2億6,598万6千円で、予算現額2億7,080万円に対して481万4千円の減となり、執行率は98.2%である。また、調定額2億6,598万6千円に対する収入率は100.0%である。

決算額を前年度と比較すると1億4,048万9千円（111.9%）増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

（単位：千円、%）

款	令和４年度				令和３年度		対前年度比較（収入済額）	
	調定額	収入済額	収入率	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	147,136	147,136	100.0	55.3	121,538	96.9	25,598	21.1
国庫支出金	0	0	0.0	0.0	3,793	3.0	△3,793	△100.0
諸収入	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	50	50	100.0	0.0	166	0.1	△116	△69.9
組合債	118,800	118,800	100.0	44.7	－	－	118,800	－
合計	265,986	265,986	100.0	100.0	125,497	100.0	140,489	111.9

※収入率・・・収入済額/調定額（以下同じ）

※構成比・・・収入済額合計に占める比率

(2) 歳入の収入状況

歳入の状況を款別にみると、次のとおりである。

1款　分担金及び負担金

（単位：千円、%）

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
151,847	147,136	147,136	0	0	100.0

収入済額は1億4,713万6千円で、前年度に比べ2,559万8千円(21.1%)増加している。内容としては、構成市からの負担金収入である。

2款　国庫支出金

（単位：千円、%）

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
0	0	0	0	0	0

3款　諸収入

（単位：千円、%）

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
2	0	0	0	0	0.0

4款　繰越金

（単位：千円、%）

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
51	50	50	0	0	100.0

収入済額は5万円で、前年度に比べ11万6千円（△69.9%）減少している。

5款　組合債

（単位：千円、%）

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
118,900	118,800	118,800	0	0	100.0

3.　歳出

(1) 歳出の概要

決算額は2億6,583万7千円で、予算現額2億7,080万円に対して496万3千円の減となり、執行率は98.2%である。

決算額を前年度と比較すると1億4,039万円（111.9%）増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

（単位：千円、%）

款	令和４年度		令和３年度		対前年度比較（支出済額）	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	227	0.1	225	0.2	2	0.9
総務費	101,339	38.1	97,912	78.0	3,427	3.5
衛生費	162,979	61.3	27,311	21.8	135,668	496.8
公債費	1,292	0.5	－	－	1,292	－
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	265,837	100.0	125,447	100.0	140,390	111.9

(2) 歳出の性質別経費の状況

性質別に経費を分類すると、次表のとおりである。

（単位：千円、%）

区分		令和４年度		令和３年度		対前年度比較（支出済額）	
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	244	0.1	373	0.3	△129	△34.6
その他経費	物件費	11,942	4.5	23,776	19.0	△11,834	△49.8
	補助費等	97,231	36.6	92,883	74.0	4,348	4.7
投資的経費		156,420	58.8	8,415	6.7	148,005	1758.8
合計		265,837	100.0	125,447	100.0	140,390	111.9

※性質別分類区分

人件費　・・・　（節）報酬、災害補償費

物件費　・・・　（節）旅費、交際費、需用費、役務費（自動車損害保険料を除く。）

委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
補助費等　・・・(節) 報償費（報償金)、役務費（自動車損害保険料）
負担金、補助及び交付金、償還金利子及び割引料
投資的経費・・・(節) 工事請負費

(3) 歳出の執行状況

歳出の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款　議会費

（単位：千円、%）

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
328	227	0	101	69.2

支出済額は 22 万 7 千円で、前年度に比べ 2 千円（0.9%）増加している。

不用額は 10 万 1 千円で、執行率は 69.2%となっている。

2 款　総務費

（単位：千円、%）

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
104,321	101,339	0	2,982	97.1

支出済額は 1 億 0,133 万 9 千円で、前年度に比べ 342 万 7 千円（3.5%）増加している。この主な要因としては、派遣職員の給与費等負担金などが増加したことによるものである。

不用額は 298 万 2 千円で、執行率は 97.1%となっている。

3 款　衛生費

（単位：千円、%）

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
163,858	162,979	0	879	99.5

支出済額は 1 億 6,297 万 9 千円で、前年度に比べ 1 億 3,566 万 8 千円（496.8%）増加している。この主な要因としては、可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業の建設工事に係る工事費が増加したことによるものである。

不用額は 87 万 9 千円で、執行率は 99.5%となっている。

4款　公債費

（単位：千円、%）

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,293	1,292	0	1	99.9

支出済額は129万2千円で、不用額は1千円で、執行率は99.9%となっている。

5款　予備費

（単位：千円、%）

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,000	0	0	1,000	0

4.　財産の状況

(1) 公有財産（土地・建物）

該当なし

(2) 物品（取得価格又は評価額が50万円以上の備品）

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
財務会計システムハードウェア	1式	－	1式

(3) 債券

該当なし

(4) 基金

該当なし

第6.　意見

令和４年度の決算額は、歳入は2億6,598万6千円で、前年度に比べ1億4,048万9千円（111.9%）増加し、歳出は2億6,583万7千円で、前年度に比べ1億4,039万円（111.9%）増加している。

歳入歳出差引き（形式収支）、実質収支ともに14万9千円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は9万9千円の黒字となっている。

この要因としては、常にきめ細やかで、的確な予算執行に取り組まれてきた結果である。

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業においては、令和３年度に事業者選定手続きが完了しており、現在は、選定された事業者により、施設の整備工事が進められている。

今後、施設の竣工・稼働に向けた本格的な施設整備が進められるが、これまで以上に効率的・効果的かつ適正に事務事業を進めていくため、次の点に留意して取り組まれるよう要望する。

1　事務事業の執行については、国庫補助金や起債による適切な財源の確保に努めるとともに、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。

2　現在、整備工事が進められている可燃ごみ広域処理施設整備事業においては、目標年次での稼働に向け、事業者に対し安全で遅滞のない進捗を求めるとともに、事業者の施工体制全体が、適法かつ適正な体制、手法により履行されているかについても、監理、監督に努めること。

3　事務事業の実施にあたっては、その進捗に合わせ両市の市民等に対し、適切な情報提供に努めるとともに、施設整備を進める際には、環境影響評価書に示された環境保全措置を確実に実施すること。

4　予算編成にあたっては、全国的な人件費や原材料費の高騰に伴い、建設工事費にも影響が生じることが懸念されるため、事業の精査を十分行い、適切な予算措置に努めること。